

令和4年度 第1学期終業式 校長講話

みなさん、おはようございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、クラスマッチを延期し、終業式を1日早めました。また、体育館で全員が集まって1学期を締めくくりたかったのですが、感染リスクを高めますのでオンラインでの終業式としました。

先程、表彰状を伝達した皆さん、入賞おめでとうございます。日頃の練習や取組の成果ですので自信を持ってほしいと思います。さらに上位を目指していた人もいるかと思いますが、「勝負は時の運」とも言われます。1学期に行われた各種大会で入賞が叶わなかった多くの部活動の皆さんを含め、次の機会には必ず結果が出ることを信じて頑張ってください。

また、今回が最後の大会だったのであれば、今の思いを下級生にしっかり伝えてください。3年生の分も頑張ろうという思いで、日南振徳高校の良い伝統がつけられていきます。これからの活躍を期待しています。

それでは終業式にあたり、3つお話しします。

1つめは夏休みの過ごし方についてです。後ほど、生徒指導部の先生や担任の先生方から話があるかと思いますが、夏休みということで気が緩んでしまうと、せっかく指導していただいたことが無駄になってしまいます。

夏休みということもあり、自分の判断で行動する機会が多いと思いますので、各自で新型コロナウイルス感染対策や、熱中症対策の他、交通事故や水難事故等に遭わないよう気をつけてください。

また、自宅や街中での過ごし方、帰宅する時刻にも十分注意してください。かはずみな行動が、これからの高校生活や卒業後の進路に影響することがあります。目の前の楽しさや好奇心に惑わされることなく、その行いの先にはどういう結果が待っているかを考えた上で、少しでも不安があれば、思いとどまる勇気を発揮してください。具体例を挙げると切りがありませんが、夜間徘徊、外泊、飲酒・喫煙の他、高校生に禁止されていることは絶対にしないようお願いします。SNSやインターネットの利用は自己責任で十分気をつけてください。

2つめです。夏休み中の実習や部活動の他、3年生は就職・進学対策で結構忙しいという人がいるかと思いますが、日本や世界の平和について考える機会をもってほしいと思います。1年前は、東京オリンピック・パラリンピックの開催直前でした。オリンピック・パラリンピックは、スポーツの祭典と同時に平和の祭典でもあります。1年経った今、ウクライナとロシアの長期化した戦争が毎日報道される世の中になってしまいました。この戦争により、日本でも経済的な影響が長期化、深刻化することが心配されています。

ところで皆さんは、8月6日、8月9日、8月15日がどういう日か知っていると思います。8月6日と8月9日は日本に原爆が投下された日、8月15日は終戦の日です。いずれも77年前のことで、身近に感じられる出来事ではなく、皆さんにとっては歴史の一コマに過ぎないかも知れません。

先日、「宮崎県原爆被害者の会」会長の田中英己子さんが校長室へお越しになりました。田中さんは6歳の時に長崎市で被爆し、お父様のご実家がある日南へ移って来られた後は、ずっと日南にお住まいになっているとのです。田中さんは「今の子供たちは被爆者からの言葉を直接聞くことのできる最後の世代かもしれない。」とおっしゃいました。この地域にも被爆体験のある方がいらっしゃる中、人類の歴史上、原子爆弾で攻撃された唯一の国に住む私たちは、当時の人々の思いを共有し、より一層、平和について考える国民にならねばなりません。

戦争や平和に関する問題について「昔のこと、外国のことで自分とは関係ない」と情報を遮断し、無関心になっていいはずはありません。「戦争や世界の飢餓問題は一般市民が起こしたことではない。国のリーダーや一部の特権階級に責任があるのであって、自分たちの思いや行動ではどうにもならない。」と反論する人もいます。それは間違いではありません。

ここで考えてほしいのは、戦争・内戦や貧困のために「学校へ行きたくても、生活のために働かなくてはならない。」「なりたい職業があっても、諦めざるを得ない。」という国に住む若者は少なくないことです。将来、日本がそういう国にならないという保証はありませんが、とりあえずはミサイルが飛んでくることを心配しながら床につかなければならない国ではないことに感謝しなければなりません。

夏休み中、今話を思い出した時は、パソコンやスマホ等で「1945年8月〇日」で検索し、表示される記事や動画をみて、77年前の8月に起こった出来事を確認し、当時と今を比較して、平和の有り難みを感じてほしいと思います。

最後になります。

おとといの午後、職員会議を開き、先生方から1学期の取組について反省を聞かせていただきました。生徒の皆さんの成長を願う気持ち、変化の激しい社会を生き抜く力を身に付けさせたいと願う気持ち、学校をさらに良くしたいという思いがたくさん伝わってきました。

時に「先生方の指導は厳しいな」と感じることもあるかも知れません。しかし、皆さんが進路目標を達成し、信頼される社会人となるためには必要なことです。今後も、先生方の思いが詰まった指導を大切にしようお願いします。

また、3年生にとって、夏休みは就職・進学に向けた最後の仕上げの時期です。先生方の指導を信じて、全員が第一希望の就職・進学ができるよう頑張ってください。皆さん一人ひとりの実績が日南振徳高校の伝統となり、地域に信頼される学校となり、地域の小学生や中学生が憧れる学校になっていくと思っています。

暑い日が続いています。健康に気をつけて充実した夏休みを送ってください。

以上で、第1学期終業式の講話を終わります。

令和4年7月21日
宮崎県立日南振徳高等学校
校長 山下 勉